

富岡地域づくり 協議会だより



第10号

平成29年3月31日

広報委員会

<http://www.town-tomioka.click/>

『富岡地区ウォークラリー大会』が開催されました



3月11日（土）8時30分より、まちづくりセンター第3駐車場を基点に富岡地区ウォークラリー大会が開催されました。一昨年、富岡地域づくり協議会発足記念事業として開催されて以来、今回が3度目になりました。主催は、富岡地域づくり協議会・富岡地区ウォークラリー大会実行委員会で、総勢103名による運営です。

ところで、今回変更ないし改善された内容等がいくつかあります。一つ目は、すでにご案内のように、ウォークラリーの案内チラシがA3版になり、大きく見やすくなったことです。前回まで参加申込書を切り取ってしまうと裏の主要な地図の一部が欠けてしまうという状況でしたが、この問題が解消されていると思います。

二つ目は、コースが変更になったことです。健脚コースの一部が今までより早く左に折れることになります。より安全なコースになったと思います。

三つ目は、来年度より協賛の団体・企業を募ることにしたということです。

今回応募いただいて次回よりご協力いただくことにしました。ゴール地点に落書きコーナーを設置したのも改善点のひとつかと思います。たくさん記入いただきました。

さて、当日は当駐車場にて開会式が行われました。昨年同様、朝早くからトコロんが応援にかけつけてくれて、子どもたちとの記念撮影にに応じていただきました。主催者あいさつを渡辺会長より、また、鹿島実行委員長より諸注意がありました。ご臨席いただいた来賓を代表して藤本所沢市長よりごあいさつをいただきました。



この後、健脚コースよりウォークラリーが始まりました。約400名程のエントリーがあり、コースを歩き出しました。風がありましたが、今年も天気にも恵まれ、暖かさが増したこの時期ゆえ、紅白梅・桃・リラ等の花々及び道ばたの草花等、目をやる方より、自然の美しさを訴えかけてくるようです。木々の新芽も膨らみ、新しい息吹も感じられます。歩いている人々に力を与えてくれているようにも感じられます。

遠く気高く映る富士山にも歩く勢いを貰ったりもできそうです。暑くもなく、また、寒くもなく、この時期に歩くことの意義をおもんばか慮ったりもできます。

歩き終えて充実感を得て、ホッと一息つけたとき、例によって抽選会が行われました。富岡地区ならではの景品が当たって満足された方も多くいたと思います。結びに、次回も是非参加いただけますようご案内申し上げます。

受付、開会式



【開会式での大会会長あいさつ】



【大人気のところん】



【ファミリーコースの受付】



【開会式の様子】

出発からコース途中



【健脚コースの出発です】



【しだれ梅が咲く中を元気に歩いています】



【「くぬぎの森交流プラザ」で湯茶の接待をいただきました】



【気持ちよく歩けた「かすらの小径」】



【三富今昔語り部館の「水車小屋」を見ながら】



【多聞院のチェックポイント】



【懐かしいオート三輪】

ゴール後



【歩いた後の綿菓子最高】



【新設の「落書きコーナー」で歩いての感想を書いていただきました。】



<編集後記>

肉体も情熱も衰えを知らないかのような動きに驚く。サッカーの三浦知良さんがJリーグ史上初めて50歳でゴールを決めた。頭に白いものが交じりながらの疾走である。得点の後、独特のステップを踏むカズダンスも健在だった。・・・

何歳になっても現役のままボールを追いかける。長く生き、長く活躍が求められる現代での一つの生き方なのだろう。同世代としてまぶしく感じるのは、少し運動すると悲鳴を上げるようになった自分の体の変化ゆえか。

誰もがカズのように走り続けられるわけではない。それでも、彼の姿を見ていると、「落ち着くのはまだ早い」と背中を押される気がしてくる。

3月14日の天声人語の一節を引用しました。折しも、富岡地区ウォークラリー大会が数日前にあり、400名程の老若男女が、かなりの距離を歩き通しました。前掲の記事ほどの大仰なことではないとしても、確かなチャレンジには違いないと思います。

多くの方が挑戦できるという点では、遙かに意義があることかもしれません。ところで、自分の体力を知って無理をせず、やれることを、また、やったことのないことをやってみるのも一興かなと思いました。

この記事の趣旨からずれてしまいそうですが、カズのゴールからいろいろ思いをめぐらせるいい機会になったことは確かなことだと思います。